

更女だより

東近江市

第23号

令和6年3月1日
編集発行
東近江地区
更生保護女性会



大津保護観察所
所長
宮山 芳久

東近江地区更生保護女性会の皆様方におかれましては、平素から更生保護活動や子育て支援活動等の地域活動に御尽力いただき、心から感謝申し上げます。また、東近江市にお住まいの皆様方におかれましては、更生保護活動に御理解・御協力をいただいておりますことに厚く御礼申し上げます。

近年、再犯防止という言葉を目にすることが多くなってきたことと
思います。犯罪のない地域社会を築くためには、これまで犯罪をしたことがない人が犯罪に至らないようにするための取組だけでなく、過去に犯罪をしてしまった人が二度と犯罪をしないようにするための取組、すなわち更生保護活動を充実させていく必要があります。そのためには、地域の皆様方に更生保護活動への理解をいただくことが大切です。ところで、更生保護女性会は、地

域に根差した様々な活動を行っています。柱としている子育て支援活動に
関しては、保護観察所は業務として直接携わる機会はありませんが、
地域社会において、子育て支援をはじめとする様々な地域活動に取り組んでいる更生保護女性会が「社会を明るくする運動」等の更生保護活動に取り組み、更生保護活動への理解が広がっていることを日々、実感しているところです。

東近江地区更生保護女性会の皆様方におかれましては、引き続き、地域社会とともに歩みながら、更生保護活動に取り組んでいただきますようお願い申し上げます。



東近江市福祉部
部長
大菅 昭彦

更生保護女性会の皆様には、日頃から、地域社会の犯罪・非行の未然防止のための啓発活動や、青少年の健全な育成を助け、犯罪をした人や非行に陥った人たちの更生活動など、地域福祉の向上に御尽力を賜っており、心から敬意を表しますとともに感謝申し上げます。

さて、近年の犯罪情勢では、検挙者の約半数が再犯者であると聞いております。これは、厳しい生育環境に加え、社会環境の変化に伴い人間関係が希薄化し、生きづらさを



東近江保護司会
会長
上阪 よう子

温かく見守れる地域
東近江地区更生保護女性会の皆様には各分区分において犯罪のない
明るい社会作りのため様々な啓発活動にご努力頂いていることに敬意を申し上げます。また、保護司会・BBS会との三者合同研修において共通理解への学びなど連携を持って頂き感謝申し上げます。コ

ナ感染の緩和とともに近頃では、犯罪件数も増加傾向にあるように思います。そんな中今年の社明運動のテーマは「生きづらさを生きていく」でした。立ち直りを支援する社会を、地域で理解し、一人でも多くの方の心の寄り添いが、強いて立ち直りへのきっかけとなることではないでしょうか。「二人でなんでもできるよ」になることが、自立じゃない。困ったら誰かを頼った方がいい」とあります。更生保護団体として共に温かく見守れる輪を広めていきたいと思います。

抱えているという背景があるとも言われています。見方を変えればきめ細やかな福祉的支援があれば、再犯に陥ることなく、社会参加を目指すことが出来るということでもあります。
そのためには、刑事司法関係機関の取組と、行政と民間協力者等が一丸となり息の長い支援を実施し、安心で安全な地域社会の実現が必要であります。本市といたしましては、貴会と共に再犯防止の取組による温かい安心で安全な地域社会の実現に向けて邁進してまいりますので、皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます。
結びに、貴会の今後ますますの御発展、御活躍をお祈り申し上げます。

4年ぶりの 前進座京都初春特別公演 1/11(木)

令和6年1月11日東近江更生保護女性会から101名で京都劇場へ豪華二本立ての観劇に参加しました。コロナ禍で外出もままならなかったので4年ぶりの観劇に楽しませていただきました。(お天気も快晴で何事もなく帰ってこれたことうれしく思います)



歳末助け合い募金をお届けしました 12/5(火)

募金...194,500円
玄米...110kg
白米...74kg
不用品...ジャンパー・セーター・肌着等の衣服類・毛布類・電化製品等

お届け先 滋賀好善会(大津市)
あゆみ作業所・いこい作業所
八身福祉会・社会福祉協議会
不用品は滋賀好善会にお届けしました。
会員皆様の善意ありがとうございました。

年間の主な行事

- 4月 令和4年度会計監査
総会
- 6月 リーダー研修会
(台風の為中止)
- 7月 社会を明るくする運動
メッセージ伝達式
街頭啓発
研修会
- 9月 第3ブロッック研究協議会
- 10月 滋賀県更生保護事業関係者
顕彰式典(保護観察所)
- 11月 滋賀県更生保護女性連盟
結成70周年記念大会
- 三者合同研修会
(保護司会・BBS会・更生保護女性会)
- 新会員研修(県更女連盟)
- 6/11月 各分区分にて三集會
- 12月 歳末施設訪問
- 1月 前進座観劇(資金造成事業)
- 3月 更女だより発行

二年間、ご協力ありがとうございました。
厚く御礼申し上げます。



あとがき

本誌発行にあたり、寄稿して頂いた皆様ありがとうございました。
令和6年も予想外の自然災害で幕開けとなりましたが「更女だより」を「三三三」をお届けできましたことを広報部一同、心より感謝申し上げます。(広報部一同)

守山更生保護女性会との 交流会に参加して

東近江市愛東町 平和記念館 ★11月1日(水)

滋賀県平和祈念館で守山地区更生保護女性会 44名と東近江地区更生保護女性会三役理事 7名が交流会を行ないました。それぞれの取り組みを発表し交流を深めることができました。

今後の課題として、両更女とも「会員の高齢化・就労会員の増加」で会員が減少し、維持していくことが困難ということが共通点でした。



新会員研修に参加して

大津びわ湖合同庁舎 1階共用会議室 ★11月28日(火)

更生保護女性会に令和5年度に入会し、いくつかの事業に参加させて頂きましたが、今回の研修会で更生保護の歴史等を知ることができて活動の意味がよくわかりました。

更生保護の大きい目的は犯罪や非行をした人々への支援です。犯罪や非行の背景の多くには「生きづらさ」が存在すると言われていて、その解決は一人では無理です。

地域で生活する「生きづらさ」を抱えている人に地域の隣人として、彼や彼女らを排除せず見守り、耳を傾けることが大切だと言うことを再認識できました。

大きいことはできませんが、生きづらい日を送っている人に少しでも暖かく触れ合えるように更生保護女性会の活動を大切にしていきたいと思いました。

今回のような有意義な研修に参加できたことで、今後の活動を地道に続けていく礎になりました。ありがとうございました。



第3ブロック研究会に参加して

日野町 わたむきホール 虹 大ホール ★9月25日(月)

日野地区更生保護女性会有志によるミュージックベル演奏の心暖まるアトラクションで和やかに始まりました。

“10年後の彼と地域を見つめた就労支援” ちょうどいい働き方暮らし方をテーマに、東近江圏域働き暮らし応援センターセンター長兼支援ワーカーの野々村光子様に講演をしていただきました。地域でちょうど良い働き方を目標にして、それぞれの人を大切に地域のネットワークを活かして精力的に発信し活動されているお話に感銘を受けました。地域の一員として関わっていけるよう私達も日々活動していきたいと思いました。



三者合同研修会

五個荘 てんびんの里文化センター ★11月26日(日)

自称サザエさんこと佐賀枝先生。人柄が表れ控えめな話し方は、あたたかさを感じられるものでした。今回カウンセリングや保護観察対象者に対しての心得でしたが、日常生活の中で生かし、良い人間関係を築くきっかけになると感じました。先生の言葉で言うところの抗(あらが)うことなく受けとめること。なかなかできることではないように思います。待つことも大切。そのために自分の心・精神が健康であることの大切さを教えられました。目の前の人との信頼を丁寧に築いていける自分でいたいと思います。



受賞 おめでとうございます



令和4年度
法務大臣感謝状
池之内幸子様

近畿地方更生保護委員会 委員長感謝状
村田せつ子様

近畿更生保護女性連盟 会長表彰
川寄美千代様

近畿更生保護女性連盟 会長表彰
廣田綾子様

大津保護観察 所長感謝状
平尾志津子様

大津保護観察 所長感謝状
坪倉美代子様

大津保護観察 所長感謝状
福永悦子様

大津保護観察 所長感謝状
福井千鶴様

滋賀県更生保護女性会連盟 結成70周年記念大会

ピアザ淡海「ピアザホール」★11月14日(火)

70周年記念大会が11月14日(火)に大津ピアザ淡海で開催されました。東近江更生保護女性会から34名参加しました。13時より開会の辞で始まり、来賓紹介・来賓あいさつ等があり、受賞者披露がありました。東近江市更生保護女性会の方も多数受賞されました。みなさま受賞おめでとうございます。なにかと活躍いただきありがとうございます。今後ともよろしくお願いたします。その後、講師に一般社団法人日本更生保護女性連盟 理事長 千葉景子氏による「琵琶湖周航 出会いを見つけながら」と題して記念講演がおこなわれました。やはり隣近所の「お互いさまで助け合い、見守り合い」が大切だと教わりました。70周年記念大会という貴重な大会に参加させて頂きよい経験をすることができました。



第73回 社会を明るくする運動に参加して

去る7月13日「社会を明るくする運動研修会」が、東近江市あかね文化ホールにて開催されました。

講師に社会福祉法人 八身福祉会の小島滋様をお迎えして『多様な人たちが共に生きられる地域社会をめざして』と題してご講演をいただきました。身体・知的・精神・発達のすべての障がい乗り越えて誰もが分け隔てなく暮らししていける共生社会事業に貢献されています。その中でも社会の一員として個々の特徴にあった職業を見つけることが重要であると痛感いたしました。

次に、地域で活躍されている鈴鹿寺番太鼓の皆さんの迫力ある和太鼓演奏を聴き、大変有意義な時間を過ごさせて頂きました。



第73回 社会を明るくする運動伝達式

第73回社会を明るくする運動の内閣総理大臣のメッセージ伝達が7月3日(月)、東近江市役所本館正面玄関前で行われました。

7月は社会を明るくする運動強調月間。期間中は、犯行や非行を防止し、立ち直りを支える地域をめざし、「生きづらさ」を抱える人、「再出発をしようとする人」を受け入れることのできる社会の実現をめざすことという内容でした。

